令和３年度　第３回学校運営協議会　（記録）

日　時　　令和４年２月15日(火)　　14：00～16：00
場　所　　大阪府立堺上高等学校　校長室

出席者　【委　員】　会　長：馬越　かよ子　　奈良佐保短期大学理事長
副会長：井関　雅　　堺市立上野芝中学校校長
委　員：岡田　浩治　　大崎工業株式会社総務部長
委　員：藤澤　眞之助　　ﾌｧﾐﾘｰﾏｰﾄFC堺上店店長

【事務局】　校　長：中川　明子
教　頭：大窪　成人
事務長：中田　博之
首　席：澤山　紀子　　(生徒会部長)
首　席：藤田　祥弘　　(教育情報部長)
教　諭：瀬角　明宏　　(教務部長)
教　諭：菅　直美　　(進路部長)
教　諭：塩田　健　　(生徒指導部長)
教　諭：小田原　剛　　(１年学年主任)
教　諭：北　晃　　(２年学年主任)
教　諭：徳庄　正幸　　(３年学年主任)

内容

１．開会の挨拶【校長】

コロナ禍による臨時休業もありましたが、なんとか今年度の授業を終えることができそうです。先日の第３回中学生進路希望調査では定員を超える希望者があり、1.1倍という結果となっています。入りたい学校として選んでもらっているのは嬉しい限りですし、希望して入学してくれた生徒たちが楽しく学校生活を送り、成長してもらえるよう教育内容を充実させていくことが我々の責務だと考えています。本日は学校教育自己診断の結果を踏まえ今年度を振り返り、委員の方々から忌憚のないご意見を頂戴し、次年度に向けての改善につなげていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

２．報告

（１）令和３年度学校教育自己診断について【校長】

今年度はWebによる実施となりました。生徒の回収率が６割強と低くなりましたが、生徒の診断結果については、ほとんどのすべての項目で（50 項目中 48 項目）数値があがっています。特に授業に対する肯定回答が上昇しており、ICTの効果的な活用と学習内容に達成感を持たせることができるような授業づくりに全教員で取り組んだ成果と捉えています。次年度より観点別評価が導入されます。引き続き授業研究に取り組み、わかりやすく質の高い授業づくりを推進していきます。

生徒指導に関する生徒の肯定回答も昨年に引き続き増加傾向にあります。「あいさつやマナーを守る指導を行い、モラルを守る態度を育成する」とった本校の方針を保護者にも理解していただき、協力を得ながら指導を進めていきたいと考えています。また、「悩みや相談に親身になって応じてくれる先生が多い」の肯定回答も生徒、保護者とも増加傾向にあります。生徒が安心して学校生活を送ることができるよう、個々の生徒への支援体制を今後もより充実させていきます。

進路指導については、生徒の進路に関する意識が年々高くなっている一方で、保護者への連絡プリント等が家庭まで届いていない可能性もあり、進路情報の伝達方法については今後の課題として検討していくことが必要かと思っています。

（２）第２回授業アンケートの結果について【校長】

ここ３年間の授業アンケート結果について推移をお示ししています。多くの教員がICTを活用した工夫ある授業づくりに取り組み、休校時においてもオンラインを活用した授業を実施できる体制も整いました。生徒向け授業アンケートでは全項目で評価が向上しています。授業見学や研究協議など同僚性を生かした授業改善が定着しつつあり「授業はわかりやすく楽しい」の肯定率は81.1%と10%以上向上しています。やはり、授業がわかって楽しくないと学校も楽しくありません。教員も楽しみながら授業づくりに取り組んでいくことができればと思っています。

（３）令和３年度学校評価について【校長】

学校教育自己診断の結果と分析、学校運営協議会からの意見を追記しています。本年度の取組内容及び自己評価については、目標を達成した項目が増えた一方で、目標を下回った項目もあります。原因をしっかりと分析して、やむをえない理由があるものを除いて、次年度の学校づくりの改善につなげていきたいと考えています。 今年度は、堺上高杯を二年ぶりに開催することができました。一方、１年次の部活動加入率は47.0%と目標を達成することができませんでした。緊急事態宣言下で体験入部等が途中で中止となり加入率が思うように伸びませんでした。部活動や生徒会活動は生徒の自主性を伸ばし、社会的な実力の育成に資する重要な活動だと捉えています。本校の魅力のひとつとなるよう、入学後の体験入部や「堺上高杯」などの取組みの充実を図っていきます。

（４）令和４年度学校経営計画基本方針（案）について【校長】

「１めざす学校像」と「２中期的目標」をこの運営協議会でご承認いただくことになります。めざす学校像や中期的目標については継続の必要性がありますので変更しておりません。具体の取組内容につきましては、より学校や生徒の実態と社会の動きに沿ったものとなるように変更しています。次年度は、社会性や幅広い教養を育むために、図書館を活用した教育活動やボランティア活動などに取り組んでいきたいと考えています。

⇒「１めざす学校像」「２中期的目標について」を承認していただいたことを確認

会長：図書館の活用については授業や他者との関わりの中で活用していく仕組みが必要かと思うので、具体的な活用の取組みを検討されるといいかと思います。また、ボランティア活動の実施にあたっては、地域の方や小学生と一緒に実施するなど、何か切り口が必要ではないでしょうか。例えば、防災訓練など、生徒だけではなく、地域の方とも連携して行うのも良い機会になると思います。

校長：図書館の整備と活用については学校教育自己診断の結果からも課題と捉えています。第６次「学校図書館図書整備等５か年計画」も踏まえ、まずは「総合的な探究の時間」をはじめ教科活動において図書館を活用した授業実践を行うことを考えています。ボランティア活動については、清掃活動を切り口にまずは取り組みたいと考えています。

（５）学校の近況報告等

①生徒指導の現状について【生徒指導部長】

生徒はよく頑張って明るく元気に登校しています。遅刻の数は減ってきていますが、一方で懲戒指導の件数は昨年度より増加しました。内容としては、コロナ禍も影響してか自宅待機期間と学校生活の切り替えに苦労する生徒もみられ、単車通学など通学時の乗り物についての指導が多く、特にフル電動自転車については、警察と相談しながら継続的に指導が必要かと思っています。

会長：女子が学外の男性と会って被害を受けるというような問題は起こってないですか？

生徒指導部長：そのような報告は聞かないですね。今、特に警察の方が言われてるのは大麻ですね。危険と隣り合わせである、バイトと称して危ないところに行くことになったりすることもある、ということは常に伝えていますので、みんな気にして生活してくれているのだと思います。

委員：フル電動自転車については、中学校でも学校には乗ってこないですけど休みの日とか家で乗っていると思いますね。

会長：保護者は乗ってはいけないという意識はないのでしょうか。

生徒指導部長：あまりないように思います。知らなかったというケースもあります。警察のほうからもパンフレットをもらって、それを配布したりしているところです。これから注意喚起をもっとしていかないと、と思っている次第です。

②各学年の様子について【各学年主任】

- ３年

  ３年生は今月末に卒業式を控えておりまして、現在、全員卒業を目指して指導中です。進路面では公務員試験や四年制大学の薬学部に合格した生徒もいます。自分の進路を明確にして就職、進学といろんな分野で粘り強く最後まで頑張ったということが評価できると思っております。

- ２年

  12月に名古屋・三重方面１泊２日で修学旅行を、１月には学年のスポーツ大会を実施しました。大きな学校行事を実施することができてよかったと思っております。コロナ禍ではありますが、落ち着いて学習に取り組んでおり、オンライン授業での提出などもしっかりやっています。本日より学年末考査がはじまりました。長く自宅待機を強いられて心配していた生徒もいましたが、この学年末考査にしっかりと取り組ませたいと思っています。

- １年

  年明け百人一首大会を予定していたのですが、コロナの影響で学級閉鎖もあり来年度に延期することにしました。秋以降、課題を抱える生徒が目立ちはじめました。SC・SSWなど多方面の協力を得て、全体で共有しながら進めていくようにしています。２年次では自分がどう生きていくのか進路を決定していく年かと思います。しっかりと支援していきたいと思います。

（６）３年生の進路状況等について【教頭】

教頭：就職が30人ほどで例年より少なくなっています。一方、進学はとても多くなり過去最高の人数となりました。進学するには費用がかかるので、SSWなどと連携しながら丁寧に指導しています。専門学校は多岐にわたっています。オープンキャンパスなども活用しながら受験校を決定し、その後は校内で相談会を開催し、念入りに進路指導を重ねてきました。公務員試験や四年制大学の薬学部にも合格しています。本校は、進路決定を先延ばしにしないように丁寧に指導しており、進路未決定者が非常に少ない学校です。１、２年生に対しての講習なども始まっています。保護者に対しても適切に情報提供を行っていきたいと思っています。

休憩

３．協議

（１）学校への提言について

会長：本日の話を聞かせていただきまして、非常によく頑張っておられるという印象を受けましたが、中学校から見ていかがですか。

副会長：私立高校の情報は頻繁に入ってきますが、公立高校に関しては、一昔前の保護者世代のイメージがまだ残っていて、ほんとに知らない生徒や保護者の方が多いと感じています。いろんな活動を発

信していただけたらな、と、ものすごく思っています。保護者懇談をしますが、偏差値で決めてしまうことも多くて、情報があるようでないというのが現状です。

会長：高校から近くの中学校に行って説明にまわるっていうのはないんですか。

校長：リーフレットをもって全教職員で学校訪問させてもらっています。アピールポイントをきっちりとお伝えすることができるよう、職員会議で共有したうえで中学校へ行かせてもらっています。

副会長：進路主事が、高校からの話を聞いて、学年の進路から生徒に伝えるのですが、学校紹介のビデオなど進路指導室から貸し出ししますよと言っても見るのは一握り。ところが「堺上高杯」は部活動をしている生徒にとってはインパクトがあります。「堺上高杯」はありがたいです。生徒にとって高校をイメージしやすくとってもいい取組みだと思います。

会長：ほかの高等学校と比べてどう違うの、っていうところですよね。普通科だったらどこでも一緒じゃないの？ってなったときに、特色として「堺上高杯」などをアピールされると、それだったら行ってみようかなと、なるのではないかと思いますね。

副会長：学校以上に先に塾の指導が入っていて。それがきついですよね。

会長：それを上回ろうと思ったら、スポーツとか目に見える形で「それがやりたいならそこやね」となるものが必要ですね。最初に挙げておられた、行きたい学校、行って良かった学校というのが一番大きな柱ですよね。高等学校さんとしては行きたいと思わせる仕掛けづくりをどうするかですよね。就職・進学・公務員など、やはり出口保障もポイントとなりますね。

校長：ソフトテニス部は私学の強豪校と互角に戦えるようになり今年度も近畿大会に出場を果たしました。今はシード校になっています。バスケットもオール大阪で32位くらいに入ってきました。少しずつ成果が出始めています。

委員：強くなるっていうことはそれだけ強い生徒が集まってくるっていうことですから。今後も実績を残していって欲しいですね。

会長：道路沿いに横断幕で見えるように、その内容を発信するのも一つですよね。今回、どれくらいの志望者があるのかなと思って新聞を見ていましたら定員をオーバーしていて、すごく嬉しく思いました。やはり、どこからか効果があるわけですよ。偏差値よりも、入ってきた生徒がどれだけ伸びるかによります。広報活動として、塾から話を聞かれるのも一つの方法だと思います。

校長：来年は塾にも訪問してみようかと考えています。本校の強み弱みを再確認し、アピールするときのキーワードについても再考してみます。

委員：卒業生のＯＢ会とかはどんな感じなんですか。

校長：ソフトテニスは毎年ＯＢ会を開いています。

会長：沢山じゃなくて、一つでもやってくれているっていうのが見えてきたらいいんじゃないですか。

委員：そういう輪を広げたら繋がっていくと思いますよ。

会長：先生たちが頑張って、今は行きたい学校として数字に表れているわけですから。同じくらいの学力の高等学校がたくさんある中で行きたいと思ってもらってるのは非常にありがたいことなので、その気持ちをどう広げていくか、ですよね。ほんとによく頑張っておられると思いますよ。結果を見て非常に嬉しかったです。みなさん自信を持たれたらいいと思います。本質を伴わせながら宣伝をされたらいいと思います。

４．閉会の挨拶【校長】

本日も、貴重なご意見を頂戴しありがとうございました。おかげさまで授業改善をはじめ少しずつ取組みの成果が見え始めてきました。本校のよさを多くの中学生や保護者の方に知っていただけるよう次年度は広報活動に力をいれていきたいと思っております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。